

市町村名	読谷村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】							
事業名	ユンタンザミュージアム建設事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部署名	教育委員会	文化振興課	事業実施 年度	平成 26	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	世界遺産喜味城跡公園内に、世界遺産と連携した魅力ある新読谷村立歴史民俗資料館(ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産ビジターセンターとして機能拡充と強化を行うことにより、観光振興、地域振興、文化振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計	
	実績報告上の総事業費(最終)	18,767	58,742	344,257	779,269	1,201,035	
	A. 予算現額	18,875	60,202	344,257	773,451	1,196,785	
	B. 執行済額	18,767	58,742	344,257	757,103	1,178,869	
	うち 交付金充当額	15,013	46,993	275,405	605,454	942,865	
	執行率(%) (B/A)	99.4%	97.6%	100.0%	97.9%	98.5%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度は、東屋及び外部階段の設置工事に時間を要したため、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は、98.5%となり、概ね計画的に執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	・基本設計の実施 ・実施設計の実施	目標	基本設計の実施	実施設計の実施			
		実績	基本設計の実施	実施設計の実施			
	建築工事の実施(延べ床面積:1842.5㎡)別館 機能強化整備の実施(2階600㎡、3階部分600㎡)	目標			建築工事の実施		
		実績			建築工事の実施		
	アプローチ広場の実施設計	目標			実施設計の実施		
		実績			実施設計の実施		
	・工事(建築・電気・機械)の実施 ・展示施設製作・音声ガイドダンス制作の実施 ・アプローチ広場整備(外構)工事の実施 ・供用開始に向けた備品購入の実施	目標				実施	
		実績				実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	・基本設計の完了 ・実施設計書の完成	目標	基本設計の完了	実施設計書の完成			
		実績	基本設計の完了	実施設計書の完成			
	H30年の供用開始に向けた事業の確実な実施	目標		実施			
		実績		実施			
	アプローチ広場実施設計書の完成	目標			実施設計書の完成		
		実績			実施設計書の完成		
	・工事(建築・電気・機械)の完了 ・展示施設製作・音声ガイドダンス制作の完了 ・アプローチ広場整備(外構)工事の完了 ・供用開始に向けた備品購入の完了	目標				完了	
		実績				完了	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
	観光客の年間入場者数	目標	34,125人	35,500人	36,500人	37,500人
実績		19,797人	25,373人	10,337人	9,334人	19,802人
目標						
実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・平成30年6月に竣工し、同月にユンタンザミュージアムが開館した。 ミュージアムの来館者数は目標人数を14,328人下回っている。</p> <p>【R1年度】 ・ミュージアムの来館者数は目標人数を10,127人下回っている。</p> <p>【R2年度】 ・ミュージアムの来館者数は目標人数を26,163人下回っている。</p> <p>【R3年度】 ・ミュージアムの来館者数は目標人数を28,166人下回っている。</p> <p>【R4年度】 ・ミュージアムの来館者数は目標人数を18,698人下回っている。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【H30年度】 ・ミュージアムの来館者数が下回っていることについて、施設の認知度・知名度が低いことに課題があると思われる。</p> <p>【R1年度】 ・令和元年度は、村内陶工の作品を展示したやちむん展、プロキャンプ時期にあわせて村にゆかりのあるスポーツ団体のグッズやサインを展示したスポコン展を開催し、認知度・知名度の向上を図った。 ・来館者数が目標値を下回ったことについては、平成31年4月16日から県道12号線が全面通行止めとなりアクセス利便性が悪くなったことや、新型コロナウイルス感染症による国内外の観光客減少、感染症対策のため臨時休館を実施したことによる影響があったと考える。</p> <p>【R2年度】 ・よみたんのむし展等コンテンツをwebサイトで公開し、また、Instagram等SNSを使い、本村や館のコンテンツを発信した。SNSでは、年間の延べリーチ数30,431となり、認知度・知名度の維持、向上を図った。 ・来館者数が下回っていることについては、新型コロナウイルス感染症の世界的まん延により、国内外からの来客者が減少したことによる影響が大きかったと考える。</p> <p>【R3年度】 ・ユーチューブ動画、Instagram等SNSを使い、本村や館のコンテンツを発信し、認知度・知名度の維持、向上を図った。結果、SNSでの年間の延べリーチ数は25,000件となった。 ・来館者数が下回っていることについては、新型コロナウイルス感染症の世界的まん延が継続し、国内外からの来客者が低迷していること、感染症対策のため5月下旬から9月末まで臨時休館を実施したことによる影響があったと考える。</p> <p>【R4年度】 ・ウィズコロナ、アフターコロナの人の動きに期待し、座喜味城跡・ユンタンザミュージアムを合わせた多言語対応パンフレットを作成。ユーチューブショート動画を作成し配信したことで、集客増につながったと考える。 ・前年度と比較し集客増となったが、コロナ感染拡大防止のための人流制限等の影響により成果目標値を下回ることになったと考える。</p>			<p>【H30年度】 ・ミュージアムの認知度・知名度向上や魅力の発信に努める必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・県道の通行止めについては、令和2年度より片側交互通行となることからアクセス利便性は幾分軽減されるが、世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の状況を引き続き注視する必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を引き続き注視する必要がある</p> <p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を引き続き注視しつつ、状況に応じた取り組みを行う必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を引き続き注視しつつ、状況に応じた取り組みを行う必要がある。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【H30年度】 ・観光振興、地域振興、文化振興につながる展示や企画、他施設や他団体などと連携した取り組みを実施し、認知度・知名度の向上を図る。</p> <p>【R1年度】 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら館を運営し、収束時に多くの人に利用してもらうため、webサイトやSNSを使って本村や館のコンテンツ等を発信し、認知度・知名度の維持、向上を図る。</p> <p>【R2年度】 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら館を運営し、収束時に多くの人に利用してもらうため、webサイトやSNSを使って本村や館のコンテンツ等を発信し、認知度・知名度の維持、向上を図る。</p> <p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症対策を継続実施しながら館を運営し、収束時に多くの人に利用してもらうため、SNS等を使って本村や館のコンテンツ等を発信し、また、修学旅行フェアへの参加等、今後の集客へ繋がる取り組みを検討し、認知度・知名度の維持、向上を図る。</p> <p>【R4年度】 ・ウィズコロナ、アフターコロナ時に多くの方に利用していただけるよう、多言語に対応したパンフレットの作成やSNS等への動画配信を行うなど、来訪者増に向けた取り組みを行い、認知度・知名度の向上を図る。</p>						